

ウェルビーイングの推進を目指して

校長 難波 明夫

<九段ブランド>とは、「本校のよさと伝統」です。学校での教育活動は、ひとつのもの（こと）を創り上げていく喜びを子どもや保護者、地域の方とともに分かち合い、子どもが成長する姿を見取り、家庭、地域が学校と一体となる絶好の機会です。学校の意図的、計画的、継続的な教育活動と、その成果の積み重ねが新たな<九段ブランド>すなわち「本校のよさと伝統」を創り出していると、私は考えています。

昨年度も様々な教育活動を通じて、各学年の充実度は高く、子どものよさが十分に発揮され、子どもが活躍する姿に保護者、地域の皆様からたくさんの拍手と声援をいただき本当にありがとうございました。

九段ブランドの中には「極める」という言葉が含まれています。「極める」とは、教職員が現状に満足することなく、子どもにとってよき思い出や成果を得るためによりよいもの（こと）を目指し、最後まで子どもを指導、支援していくことにあります。私が考える「極める」とは「子どもの実態や地域などの実情を踏まえて、設定されている学校の教育目標を実現するための教育課程に基づき、組織的かつ計画的に教育活動の質を高めていくこと」を意味しています。<九段ブランド>は、「全教育活動を通じて、よりよい社会を作るという目標を学校と社会が共有し、各校において必要な教育内容を明確にしながら、社会との連携・共同によって、学校教育の実現を図ること」です。これは私の学校経営方針のひとつである「ウェルビーイングの推進」へとつながります。

これからも様々な教育活動において、本校は不易と流行を見極めつつ、常によりよいものを求めて、目標の達成を目指し、極めていきます。別の言葉に言い換えると、「極める」ことは新九段ブランド<新しいよさと伝統>となり、子どもや保護者、地域へ成果となって確実に伝わっていると信じています。これは、教職員が子どもや保護者、地域のために取り組んだ学校としての成果であると自負しています。引き続きどの子どもも伸ばし、子どもも大人も笑顔あふれる安心安全な学校づくりに取り組んでいきます。

結びにお子様の入学、進級おめでとうございます。

本校は1年生 68 名を迎え、全校児童 479 名、16 学級のスタートです。4月は子どもや大人にとって新たな希望と意欲に満ちあふれている時です。新生活で忙しい時にこそ、心と時間にゆとりをもち、子どもとゆっくり向き合う中で、子ども一人一人のよさを確かめ、互いの信頼関係をしっかりと築く4月と5月にしていきます。

1年間、どうぞよろしく申し上げます。